

令和4年9月1日

保護者様

長崎市立西泊中学校
校長 西田 篤史

学力調査の結果について

秋晴の候、保護者の皆様におかれましては、ご健勝のことと存じます。日頃より、本校教育に対しまして、深いご理解と温かいご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

さて、1学期に行われました学力調査の結果と今後の改善策について報告いたします。教職員一同、今後も生徒たちの学力向上に取り組んでまいります。

全国学力調査結果（3年）

【国語科】

全国平均をやや上回っている項目

- 言語事項（言葉の使い方や言語文化）

特に平均よりも下回っている項目

- 話すこと。読むこと。書くこと。

特に正答率が全国平均に比べ低かった問題

「スピーチをどのように工夫して話すか」「話の展開を取り上げて書く」「情報の扱い方に関する事項」などに誤答や無回答が多くありました。問題形式別では選択式と短答式の正答率が全国平均を上回っているのに、記述式が下回っているのが課題です。

<改善策>

- 1 自分の考えの幅を広げる読解力の育成
- 2 構成や趣旨を読み取り、評価の根拠を示す学習訓練
- 3 図形や表などを読み取る総合問題の繰り返し学習

【数学科】

全国平均をやや上回っている項目

- 数と式

全国平均をやや下回っている項目

- 図形 ●関数

特に正答率が全国平均に比べ低かった問題

図形や関数において、問題文の情報の整理ができておらず正答率が低くなりました。情報を整理するのに時間をとられ過ぎた結果、無回答で終わっていることも多くありました。

<改善策>

- 1 問題把握能力（問題をしっかり読み、情報を整理する）の向上
- 2 根拠を明確にして自分の考えを述べる（書く）学習の強化
- 3 学習形態を工夫し、学び合い活動を取り入れる

【理科】

全国平均をやや上回っている項目

- 全領域

特に平均よりも下回っている項目

- 「地球」を柱とする領域

特に正答率が全国平均に比べ低かった問題

「節足動物の体のつくりが異なる理由を、生活場所や移動の仕方と関連付けて説明する」「考察の妥当性を高めるための改善案を、測定範囲に注目して説明する」など、記述の視点を与えられた状態で回答を求められるものに誤答や無回答が多くありました。

<改善策>

- 1 生活に結び付けた知識の紹介
- 2 実験や観察で得られたデータを分析して解釈する学習訓練
- 3 選択式、短答式、記述式など、様々な形式の演習

長崎県学力調査（3年）

【英語科】

県平均よりも上回っている項目

- 読む活動 ○自分に関する基本的な情報を語句や文で書く活動

県平均をやや下回っている項目

- 聞く活動(まとまった文章を聞いて話し手の意向を正確に把握する問題)

特に正答率が県平均に比べ低かった問題

- 与えられたテーマについて考えを整理し、文と文のつながりなどに注意してまとまりのある文章を書く問題

英語の授業で、外国人観光客(foreign tourists)にとって分かりやすい長崎県 PR ポスターのデザインを話し合っています。あなたが話し合いに参加しているとして、A と B のどちらがよいか、自分の考えを理由とともに20語以上の英語で書きなさい。

生徒の興味・関心を引き出すテーマを設定し、様々に思考し、それを整理し筋道を立てて表現する活動の充実を図ります。自分の意見を伝えるための「根拠」となる内容を書かせることで、語数の条件を満たさせ、まとまりのある文章を書けた喜びを感じさせたいと思います。

長崎県学力調査（2年）

【国語科】

県平均よりも上回っている項目

- 全領域において上回っている

県平均よりも下回っている項目

- なし

正答率が低かった問題

- ・文脈に応じた発言内容を考える（話すこと・聞くこと）

・その場面における登場人物の心情をとらえる（読むこと）

正答率が低かった問題は、記述式の問題であり、無回答の割合が高く、また、誤答が目立つため、多くの生徒が苦手としていることが伺えます。

今後の授業では、各単元ごとに、「話し合い活動」や「書く活動」を位置づけて、継続して取り組ませ、内容を適切に理解し、自分の考えを表現する力の向上を図りたいと考えています。

【数学科】

県平均よりも上回っている項目

○全領域において上回っている。

県平均よりも下回っている項目

○なし。

正答率が低かった問題

与えられたデータの特徴を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明する（データの活用）ような問題。

2年生では、どの項目も県平均を上回っていました。今後は、数学的な思考・判断・表現の力を高めていきたいと考えています。

長崎市学力調査（1年）

【国語科】

全国・市の平均よりも上回っている項目

○「書くこと」「読むこと」

全国・市の平均よりも下回っている項目

●「言葉の特徴や使い方に関する事項」「話すこと・聞くこと」

正答率が低かった問題

・インタビューの内容を聞き取る ・文法・語句に関する事項 ・資料をもとに話し合う

1年生は、「書くこと」「読むこと」は全国平均を上回っており、総合的には、全国平均とほぼ同程度で、おおむね良好です。特に漢字の読み書き、文章を読み取る力やまとめる力に優れています。一方、連用修飾語についての理解、意図に応じて話の内容を捉え、適切な質問をするということがあまりできていませんでした。今後は文法学習に力を入れるとともに、話す・聞く活動の充実を図りたいと思います。

【数学科】

全国・市の平均よりも上回っている項目

○全領域において上回っている

全国・市の平均よりも下回っている項目

○特になし

正答率が低かった問題

『小数の除法の文章問題を表した図を読み取る問題』『2つの式を使って表された式について、一方の文字の値から他方の文字の値を求める問題』

1年生では、大きな項目でみると、すべてが全国・市の平均を上回っていました。さらなる向上のために活用の力を伸ばしていきたいと考えています。